

平成29年度 シラバス (課題研究)

学番 78 新潟県立海洋高等学校

教科 (科目)	水産 (課題研究)	単位数	2 単位	学年 (コース)	3 学年 (海洋技術コース)
使用教科書	漁業 (海文堂出版株式会社 発行) / 航海・計器 (海文堂出版株式会社 発行) 船舶運用 (海文堂出版株式会社 発行)				
副教材等	(一般財団法人日本船舶職員養成協会) 小型船舶操縦士学科試験問題集 (一般科目・ 上級科目) (株式会社舵社)				

1 学習目標

小型船舶の操縦、船で使用する無線やレーダ観測の方法について専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、自発的に問題を解決する能力や学習態度を育てます。

2 指導の重点

資格取得を目標にしていることから

- ①第1級小型船舶操縦士に必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得します。
- ②第二級海上特殊無線技士に必要な無線工学・関係法令の基本的な知識を習得します。
- ③海技免許講習 (レーダ観測者) に必要な知識と技術の習得をします。

3 学習計画

月	単 元 名	教材	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
4	○小型船舶の船長 および遵守事項	交通の特性	○船長の心得および遵守事項について 理解する。	4	授業の取組 各時間の課 題・レポート
5	○交通の方法	心得、遵守 事項	○船舶を安全に航行させるための交通 方法 (海上衝突予防法、海上交通安 全法、港則法、特別法) を理解する。	6	
6	○運航 (一般)	交通ルール			
7		航海基礎 機関取扱い 気象・海象	○船舶の形状や機関の種類により操縦 特性が異なることや発港前の点検の 重要性を理解する。	8	
9	○第二級海上特殊 無線技	無線工学 法規	○第二級海上特殊無線技士で取扱う工 学・法規を理解する。	8	
10			○船舶の操縦性について理解する。	4	
11	○運航 (一般) ○上級運航 I	航海計画 救命設備 荒天航法	○水路図誌や海図の記載内容と使用方 法を理解する。 ○出港前の準備と調査の重要性を理解 し航海計画を作成する技術を習得す	8 8	

12	○上級運航Ⅱ	機関の保守 点検、対処	る。 ○内燃機関の主系統の保守・整備方法を理解する。 ○機関故障による事故防止に対する確認方法及び機関故障時の正しい対処方法を習得する。		
1 2	○海技免許講習（レーダ観測者）	レーダー	○レーダ始動時およびその後における画面調整について理解する。距離及び方位測定方法において精度を向上させるための技術を身に付ける。	18	授業の取組 各時間の課題・レポート

計 64 時間（55 分授業）

#### 4 課題・提出物等

- 授業で配付したプリントおよび課題
- 長期休業中の課題、ノート

#### 5 評価規準と評価方法

評価は次の4観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
○小型船舶や海上特殊無線技士の資格試験に心を持ち、積極的に行動できる。	○船舶を安全に運行させるための計画や機関故障時に正しい対処を行うことができる。	○小型船舶の取扱い、および、レーダ観測者に関する基礎的な技術を身に付けて、的確な操作をすることができる。	○小型船舶の取扱い、および、レーダ観測者に関する基礎的な知識を身に付けている。

以上の観点を踏まえ

- 授業への取組状況（授業態度、出席状況、発表、学習参加状況など）
  - 提出物（レポート、プリント、ノート）の内容及び期限の厳守
  - 小テスト（実技を含む）
  - 自己評価
- などから総合的に判断します。

#### 6 担当者から一言

この科目は一級小型船舶操縦士、第2級海上特殊無線技士等の国家資格取得を目指します。授業だけでは取得につながりませんので、学習計画をしっかりと立て実行しましょう。予定している資格試験に全員合格できるように頑張りましょう。

担当 久保田和平、新井清久、斎藤ゆかり、岩谷和彦

